

2023 年度 第 2 回 10 月北大本番レベル模試地理 採点基準

1 単答記述問題

誤字，脱字，漢字間違いは 0 点。

記号問題で 「イ)」が正答の場合「イ」も正答とする。

2 論述問題

① 「設問別加点基準」に基づき加点する。また，その他各問題の主旨に適した解答にも適宜加点する。ただし，満点を超える得点は与えない。

② 以下の「共通減点基準」に基づき減点する。

3 共通減点基準

① 加点要素における誤字・脱字および漢字の間違いは 1 点減点。

② 下線の付け忘れは 1 点減点。

③ 指定用語不使用は 1 つにつき 1 点減点。

④ 字数オーバーは 1 点減点。

*減点しなくていい要素，その他の注意

① 地理用語に関して，漢字の新字体／旧字体や，スロヴェニア⇔スロベニア，パキスタン⇔パーキスターンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては減点はしない。

② 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は 0 点だが，減点はしない。

③ 加点項目は内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。

④ 文章が未完のものも減点しない。

4 採点記号について

1. <□□□□> 加点ポイント
2. □□□□× 事実に誤認あり
3. □□✓□□ 誤字あり／脱字あり

5 設問別加点基準

- 1) _____部分は必須キーワードであり、この表現がなければ当該加点ポイントにおける加点はしない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○／△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。
- 3) 「② (①の説明として)」は、加点ポイント①を正解していなくても、加点ポイント②に該当すれば加点する。

1

問6 9点

1960年代、高度経済成長期の需要拡大に応じて安価な輸入丸太が急増し、木材自給率は急落した。70年代、輸出国側の丸太輸出規制が強まり、国内では石油危機後に需要が停滞して自給率は維持されたが、80年代後半の円高で輸入製品が増えて再び低下した。2000年以降、国際価格の上昇、景気低迷による需要減、戦後の植林が利用期を迎えたことによる供給拡大、バイオマス発電用の間伐材利用などで自給率は回復した。

【加点ポイント】

①<1点> 【1960年代について】

○木材自給率は急落した／100%近くだった木材自給率が50%以下まで落ち込んだ

②<2点(1点×2)> 【①の要因】

○輸入丸太の増加 →1点

○高度経済成長期／経済成長による高需要 →1点

③<1点> 【1970～2000年について】

○木材自給率は停滞した／木材自給率は徐々に下がった

／木材自給率は約40%から20%くらいまで下がった

④<2点(1点×2)> 【③の要因】

○輸出国の丸太輸出規制／輸入製品の増加／製材の輸入増加 →1点

○石油危機後の国内需要の停滞／円高 →1点

⑤<1点> 【2000年以降】

○木材自給率は回復した／木材自給率は上昇した／木材自給率は40%超になった

⑥<2点(1点×2)> 【⑤の要因】

○木材の国際価格の上昇／輸入製品の価格上昇 →1点

○景気低迷による需要減／戦後の植林が利用期を迎えた

／バイオマス発電用の間伐材利用 →1点

問7 5点 5点 [指定語句] **郊外 在宅勤務 低金利政策** 3つ全て 下線不要

☆☆ 指定語句不使用は、指定語句1つにつき1点減点。

ただし、解答中のどこかで使用していれば減点しない。

新型コロナウイルス禍で停滞する経済の回復を図った**低金利政策**を背景に、**在宅勤務**に転換した勤労者が**郊外**の一戸建て住宅を新たに購入、またはリフォームすることが増えた。

(次ページに続く)

【加点ポイント】

①<1点>【政策的背景】

○低金利政策

②<1点>【①の背景】

○経済停滞（不況／不景気）／経済の回復を図った

③<1点>【②の要因】

○新型コロナウイルス（コロナ禍／covid-19）

④<2点（1点×2）>【③の影響】

○在宅勤務への転換／在宅勤務の増加 →1点

○郊外の住宅需要（リフォーム需要）の増加 →1点

2

問2 4点

貧しい農村では子どもも働き手として重要であり、その存在が老後の生活の支えになる。

【加点ポイント】

①<4点（2点×2）>【合計特殊出生率が高い経済的理由】

○子どもが働き手として重要／子どもも労働力である

○農村が多い／農業が主産業である

○子どもの存在が老後の支えとなる

／社会保障制度が不十分で老後は子どもに頼る

○1つ2点

4点まで

問4 5点

都市域の急速な拡大と人口急増による住宅不足や交通渋滞、環境汚染などが深刻である。

【加点ポイント】

<1点>【プライメートシティの状況】

○人口の急増／人口の一極集中／都市域の急速な拡大

②<4点（2点×2）>【プライメートシティの問題点】

○住宅不足／スラムの拡大／ホームレス（ストリートチルドレン）の増加

○失業率の上昇／失業者の増加／インフォーマルセクター従事者の増加

／雇用機会が不十分

○交通渋滞／大気汚染／環境汚染

○1つ2点

4点まで

問6 5点

防風林として、冬の季節風や積雪、春先のフェーン現象による強風などから家屋を守る。

【加点ポイント】

①<2点>【家屋での工夫】

○防風林を持つ／屋敷林（屋敷森）を持つ／家の周囲に多くの樹木を植える

②<3点>【①の目的】

○強風から家屋を守る／冬の季節風を防ぐ／フェーン現象による強風を防ぐ

問7 5点

水害を防ぐため周囲に堤防を築いた輪中集落を形成し、一部の家屋は土台を高めている。

【加点ポイント】

①<2点>【集落の形式の名称】

○輪中集落／輪中

②<1点>【①の目的】

○水害を防ぐ／洪水を防ぐ／家屋への浸水を防ぐ／川の氾濫を防ぐ

③<2点>【①の方法】

○周囲に堤防を築く／集落を堤防で囲む

3

問2説明 5点

夏乾燥するCは地中海性気候のリスボンに当たり除外する。他2地点は年中湿潤で温和な西岸海洋性気候だが、プラハの方が内陸に位置するため気温の年較差が大きいAを選ぶ。

【加点ポイント】

★「問2記号：A」の正解を加点の前提とする

①<2点>【降水量について】

○（プラハは）年中湿潤である／一年を通して降水がある／乾季が無い
／夏乾燥するCは地中海性気候のリスボンである

②<2点>【気温について】

○（プラハは）気温の年較差が大きい／冬の気温が低い（冬は冷え込む）
×「年較差が大きい」のみで「気温の」が明記されていない

③<1点>【②の要因】

○（プラハは）内陸に位置する／隔海度が高い（海から遠い）

（※②③で「ロンドンに暖流の影響（海に近い）で、冬の気温が高いBである」→3点）

問5 6点

生産量に応じた補助金が生産過剰を招きEUの財政負担を増大させたため、環境保全や衛生・品質の向上などに取り組む農家への直接所得補償に転換した。また、伝統的農業を保護し、付加価値の高い農業や持続可能な農業を奨励している。

【加点ポイント】

①<3点（1点×3）>【見直しの内容】

○以前は生産量に応じた補助金であった／以前は農産物の買取価格を保障 →1点

○直接所得補償に転換した →1点

○環境保全（衛生／品質の向上など）に取り組む農家への支払いになった →1点

②<2点（1点×2）>【①の背景】

○生産過剰 →1点

○EUの財政負担の増大／EUの財政圧迫／農業が盛んでない加盟国の不満 →1点

（次ページに続く）

③<1点>【その他の見直し】

- 伝統的農業（地域の特産物）の保護／付加価値の高い農業の奨励
／持続可能な農業の奨励／小規模農業者への援助拡大／条件不利地域への援助拡大

問6 6点

社会主義体制下で経済発展が遅れた東ヨーロッパ諸国は比較的賃金が安い。低い生産費で優れた製品を作れるこれらの国がEUに加盟すると、西ヨーロッパの企業や、EUの市場を求める日本や韓国などの企業が生産拠点を移した。

【加点ポイント】

①<1点>【製造業立地の要因】

- 東ヨーロッパ諸国がEUに加盟した／EUの東方拡大

②<4点(2点×2)>【東ヨーロッパ諸国の利点】

- 賃金が安い／安価な労働力／生産費が低い →2点
- 優れた製品を作れる／工業（産業）基盤が整っている／熟練労働者が多い →2点

③<1点>【②の背景】

- 社会主義体制下で経済発展が遅れた／旧社会主義国である／計画経済であった

4

問3 4点

南半球にあるため日本と季節が逆であり、日本へ輸出するカボチャを、日本のカボチャの端境期に生産することができる。

【加点ポイント】

①<2点(1点×2)>【地理的要因】

- 南半球に位置する →1点
- 日本と季節が逆である →1点

②<2点>【①の利点】

- 日本の端境期（収穫前の時期／品薄な時期）に、生産（収穫／出荷／輸出）できる

問6 8点

旧宗主国イギリスのEC加盟後、主たる貿易相手となったアジアとの関係強化が必要となった。また、農業や鉱工業の成長で労働力も不足した。よって白人以外の移住を制限する白豪主義を撤廃してアジア等からも移民を受け入れるようになり、多文化主義が導入された。

【加点ポイント】

①<2点>【政策変化の契機】

- イギリスのEC加盟
- △「イギリスが主な貿易相手だった」のみ →1点

(次ページに続く)

②<2点>【変化前の政策】

○白豪主義／白人以外（アジア系）の移住を制限／非白人を排斥した

③<1点>【変化後の貿易相手】

○アジア諸国／日本／中国／韓国など

④<1点>【産業経済の変化】

○農業や鉱工業の成長／経済成長／産業の発達／労働力不足となった

⑤<2点>【変化後の政策】

○多文化主義／アジア等からも移民を受け入れるようになった

△「白豪主義の撤廃」のみ →1点

問7 6点

イギリス系住民が多く、先住民のマオリは少数民族となった。かつて前者は後者に同化政策を行い、マオリ語が失われかけたが、現在は英語とともに公用語とされるなどマオリ語の保存が進んでいる。

【加点ポイント】

①<2点（1点×2）>【ニュージーランドの民族構成】

○イギリス系住民が多い／ヨーロッパ系住民が多い／ゲルマン系民族が多い →1点

○先住民はマオリ／先住民（マオリ／マオリ民族／マオリ族）が少数派 →1点

②<2点>【以前の言語政策】

○先住民（マオリ）に同化政策を行った／先住民（マオリ）に英語の使用を強制した

△「英語だけが公用語だった」のみ →1点

③<2点>【現在（近年）の言語政策】

○（英語とともに）マオリ語も公用語とした／マオリ語の保存が進む